

南山だより



東京都港区元麻布3-8-15 TEL03(3403)5773 FAX03(3408)4532 MAIL:nanzan-es@minato-tky.ed.jp

情熱に勝る能力なし ～ 自分で伸びる子を育てる！ ～

副校長 安川 由美

お正月に「情熱に勝る能力なし」という言葉をお聞きになった方も多いかと思います。箱根駅伝で総合優勝、そして3冠を達成した駒澤大学の八木監督の言葉です。この言葉を聞いた時「では、その情熱という能力はどうしたら育てるのか？」という問いが頭をめぐりました。そして、その問いの答えに近付けるヒントがアナウンサーの解説の中にあっただけです。それは、八木監督の指導法の変化です。監督になったばかりの時は「監督の言うことは絶対」という練習を課して選手を鍛え、チームの立て直しを図ったそうです。最初は上手くいったのですが、伸び悩む時期が来ます。今は「選択肢を与えて、君たちはどうしたいか。」と寄り添う指導へと変化したそうです。未熟な選手たちに全てを委ねるわけにはいきませんが、選手の考えを聞くようになったのです。想像でしかありませんが、選手たちは監督から意見を求められるという「尊重された」喜び、そして、どうしたいか求められたら「自分たちで考えなければならない」という責任、自分たちで決めたのだから「やりきる」という意欲などが少なからず選手に湧いたのではないのでしょうか。もしかしらば、この延長線上に「情熱＝突き動かす力」という能力が育つのではと思いました。また、素晴らしい監督とは、行き詰った時、選手のせいにならず、自分自身を振り返り、勇気をもって自分を変えることができる人なのだと実感したのです。

さて、我が子に「情熱＝突き動かす力」は育っていますか？個人面談での保護者からの相談や子供たちのつぶやきの中に気になることがあります。

- ・「勉強しなさい。」という言葉で、ついつい親子喧嘩になってしまう。(保護者)
- ・習い事ばかりでホッとできる時間がない。決められたことをやるのにくたくた。(子供)
- ・自分はやっているつもりなのに、真面目にやっていないと言われる。(子供)

子供は未熟ですから、よき指導者が必要です。しかし、もし子供が何かに行き詰まっていると感じたら、指導者自身が自分の何かを変えるべきではと振り返ることも必要です。テストの点として測れる能力もありますが、その土台となっているのは、安定した情緒だったり、最後までやり遂げる粘り強さだったり、人を大切にできる優しさだったりします。このような点数では推し量れない能力を「非認知能力」と呼ぶことがあります。小さいうちに「非認知能力」を高めることは、「認知能力(点数で測れる能力)」により影響があるとも言われています。

もし、お子さんの今に行き詰まりを感じたとき、八木監督の話の中に出てくる「監督」を「親」、「選手」を「子」に置き換えてもう一度読んでみてください。親と子の関係をさらによくし、「情熱」をもって自分自身で伸びていく子になっていくヒントがあるかもしれません。

1月の道徳授業地区公開講座での講師の発田憲先生からも、人と人との関わり大切さについてお話がありました。人と安心してコミュニケーションが取れることも成長の大切な土台です。

2月には感性を磨く展覧会を行います。高い学力で有名な北欧の教育では、理数教育に特化するだけでなく、その両輪として芸術教育を重視しています。点数では測れない「非認知能力」の大切さがよく分かっている証拠です。南山小学校でも、この「非認知能力」を大切に、主体的に自分から伸びていこうとする子供たちを育てたいと考えています。児童一人一人の芸術作品をじっくりと鑑賞していただき、その子の輝きを見つけていただけましたら嬉しく思います。

心を整えて挑んだ席書会

国語部担当

席書会 始めの会で、各学年の代表児童1名が、それぞれ冬休み前から練習してきたことをもとに、書き初めのめあてを発表しました。

1・2年は硬筆を使って、とめ、はね、はらいに気を付けて、丁寧に書きました。3年生以上は、太筆を使って、字配りや筆の運び方に注意を払いながら、力いっぱい書きました。

年の初めに心を整え、清々しい気持ちで筆を運ぶことは気持ちのいいものです。凛とした雰囲気の中、皆集中して取り組み、堂々とした作品を仕上げました。

「字は人を表す」と言います。普段から読みやすい丁寧な文字を書いてほしいです。



友達や周りの人とのよりよい関わり方を考える

道徳部担当

道徳授業地区公開講座は、子供たちの心の成長や家庭・学校・地域社会における道徳教育の在り方について、相互の理解を深めることをねらいとしています。

今年度のテーマは、「主として人との関わりに関すること」です。周りの友達に親切にすることや思いやりをもって接すること、友情・信頼をテーマに学習しました。本校で行っている南山スタイルのペアやグループでの話し合い活動を通して、一人一人が考えを深めていくことができました。

また講師の発田憲先生から、「人と人との関わりで大切なこと」という演題での講話がありました。子供の健全な発達のための親からの声掛けや態度について、5つの重点ポイントを軸にお話をいただきました。子供たちの健全な成長を促すために、「結果ではなく過程を褒めること」「よくないところではなく、よいところに注目すること」など、子供の成長に携わる大人が身に付けたいスキルだと感じました。

今後も、家庭・地域と連携を図り、道徳教育に取り組んで参ります。

ご協力くださいますよう、よろしく申し上げます。

2月行事予定

6日(月)	委員会活動	17日(金)	展覧会(鑑賞日・リサイタル)
8日(水)	クラブ活動(クラブ見学3年生)	18日(土)	展覧会(鑑賞日・アートフェスタ・リサイタル)
10日(金)	漢字検定(希望者)	21日(火)	新1年入学説明会

※2月の避難訓練は予告なしで行います。

2月生活目標

みんなのよいところを見つけよう